

マイクロコントローラ技術情報

技術通知 V850 ソフトウェア・パッケージ SP850 使用制限事項の件				発行番号	ZBG-CD-08-0049号	1 / 1
				発行日	2008年 11月 25日	
				発行部門	NEC エレクトロニクス株式会社 マイクロコンピュータ事業本部 汎用マイコンシステム事業部 開発ツールソリューショングループ	
文書分類	○	使用制限事項	バージョン・アップ	ドキュメント誤記訂正 (正誤表)	その他	
関連資料	なし					

1. 対象製品

SP850 V4.30

2. あらたな制限事項

今回新たに下記の制限事項を追加しました。詳細は、別紙を参照して下さい。

- ・ No. 3 インストール／アンインストールの制限(その 2)

3. 回避策

今回追加した制限事項の回避策です。詳細は、別紙を参照して下さい。

- ・ No. 3 ありません。

4. 改善計画

下記日程で改善することを予定しています。

SP850 V4.40 (2008 年 12 月末リリース予定)

※ 本日程については予告なく変更する場合がございますので、改善品のリリース日程については、別途、弊社営業までお問い合わせください。

5. 制限事項一覧

制限事項の履歴とその詳細情報が含まれました制限事項一覧を別紙に記載します。

6. 発行文書履歴

文書番号	発行日	記事
SBG-DT-03-0013	2003. 1. 29	初版
ZBG-CD-06-0031	2006. 4. 10	新規制限事項追加(No.2)
ZBG-CD-08-0049	2008. 11. 25	新規制限事項追加(No.3)

以上

SP850 の制限事項一覧

1. 製品履歴

No.	仕様変更・追加／不具合事項	バージョン							
		V1.00	V2.00	V3.00	V3.10	V4.00	V4.10	V4.20	V4.30
1	Java Runtime Edition 1.3.1_03 のセキュリティ・ホールの制限	—	—	×	×	○	○	○	○
2	インストール／アンインストールの制限	—	—	—	—	×	×	○	○
3	インストール／アンインストールの制限(その2)	—	—	—	—	—	—	—	×

×:該当する ○:該当しない —:対象外

2. 使用制限事項の詳細

No. 1 Java Runtime Edition 1.3.1_03 のセキュリティ・ホールの制限

【内 容】性能解析チューニング・ツール TW V1.00 が使用する Sun Microsystems(株)提供 Java Runtime Edition 1.3.1_03 (以降 JRE 1.3.1_03 と略記)に、セキュリティ・ホールが発見されました。

このセキュリティ・ホールは TW V1.00 の動作には影響しません。

JRE 1.3.1_03 セキュリティ・ホールの 1 つ目の内容は zlib に対して任意のコードが実行可能となるというものです。zlib は多数のアプリケーションに利用されている圧縮ライブラリであるが、細工された圧縮データのブロックを適切に処理できないことに弱点が存在します。攻撃者にこの弱点を利用された場合、リモートから任意のコードを実行される可能性があります。セキュリティ・ホールの詳細な情報は下記の Web を参照してください。

<http://sunsolve.sun.com/pub-cgi/retrieve.pl?doctype=coll&doc=secbull/220&type=0&nav=sec.sba>

2 つ目の内容はリモートからセキュリティチェックを回避される可能性があるというものです。細工された Java Bytecode を使用することで Java Bytecode Verifier に作成されたクラスのコンストラクタ内部で適切な初期化メソッドを呼び出さずにオブジェクトの新しいインスタンスが作成可能なために Java Bytecode Verifier のセキュリティチェックを回避することが可能なため、今回の問題が発生してしまいます。セキュリティ・ホールの詳細な情報は下記の Web を参照してください。

<http://sunsolve.sun.com/pub-cgi/retrieve.pl?doc=fsalert%2F49304>

【回避策】 TW V1.00 を使用するために JRE 1.3.1_03 をインストールした PC(Windows)において、Internet Explorer および Netscape 6 より前の Netscape などの完全に Java を使用しないように設定できない Web ブラウザを使用する場合を除き、以下の設定を行いうことで、ネットワークに関するセキュリティ・ホール問題を回避できます。

(1) Windows の[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[Java Plug-in 1.3.1_03] から [Java Plug-in コントロールパネル]を開き、[基本]の[Java Plug-in の有効化]のチェックを外して、[適用]ボタンをクリックする

(2) Web ブラウザのセキュリティ設定で Java を使用しないように設定する

上記の設定により、セキュリティ・ホールを回避して TW V1.00 を使用することができます。Internet Explorer および Netscape 6 より前の Netscape などの完全に Java を使用しないように設定できない Web ブラウザを使用している場合は、その Web ブラウザを使用しないようにするか、上記の設定をした完全に Java を使用しないように設定可能な Web ブラウザ (Netscape 6, 7 など) を使用することで、セキュリティ・ホールを回避して TW V1.00 を使用することができます。

【改善策】 V4.00 で修正しました。

No. 2 インストール／アンインストールの制限

【内 容】インストールの際に次のツール製品を選択する、または、次のツール製品をアンインストールすると、Windows の一部のショートカット等を削除してしまいます。

- ・ SM+ for V850 V2.00 実践サンプル・プログラム
- ・ SP850 V4.10 ツール連携情報ファイル

削除されるショートカット等の対象は、次のフォルダ以下になります。

Windows の種類	フォルダ
Windows XP	C:\Document and Settings\All Users\スタート メニュー\プログラム
Windows 2000	
Windows NT	C:\Winnt\Profiles\All Users\スタート メニュー\プログラム
Windows Me	C:\Windows\スタート メニュー\プログラム
Windows 98	

(Cドライブに Windows がインストールされている場合)

上記フォルダ中のファイルで、次のいずれかの条件に該当する場合に削除されます。
なお、ショートカットのリンク先のファイルは削除しません。

- ・ リンク先のファイルが存在していないショートカット
- ・ リンク先に引数が指定されているショートカット
- ・ 作業フォルダが指定されているショートカット
- ・ ショートカット以外

ショートカット等が削除されてしまった場合には、次のメニュー等で表示されなくなります。

- ・ スタートメニュー
- ・ 管理ツール(コントロールパネル)

削除されたファイルの情報は残っていないので、削除されてしまったファイルを特定すること、復元することはできません。

【回避策】 ありません。

【改善策】 V4.20 で修正しました。

No. 3 インストール／アンインストールの制限(その2)

【内 容】 インストールの際に次のツール製品を選択する、または、次のツール製品をアンインストールすると、Windows の一部のショートカット等を削除してしまいます。

- ・ SM+ for V850 V2.00 実践サンプル・プログラム
- ・ SP850 V4.30 ツール連携情報ファイル

削除されるショートカット等の対象は、次のフォルダ以下になります。

Windows の種類	フォルダ
Windows XP	C:\Document and Settings\All Users\スタート メニュー\プログラム
Windows 2000	

(Cドライブに Windows がインストールされている場合)

上記フォルダ中のファイルで、次のいずれかの条件に該当する場合に削除されます。
なお、ショートカットのリンク先のファイルは削除しません。

- ・ リンク先のファイルが存在していないショートカット
- ・ リンク先に引数が指定されているショートカット
- ・ 作業フォルダが指定されているショートカット
- ・ ショートカット以外

ショートカット等が削除されてしまった場合には、次のメニュー等で表示されなくなります。

- ・ スタートメニュー
- ・ 管理ツール(コントロールパネル)

削除されたファイルの情報は残っていないので、削除されてしまったファイルを特定すること、復元することはできません。

【回避策】 ありません。

【改善策】 V4.40 で修正する予定です。

以上